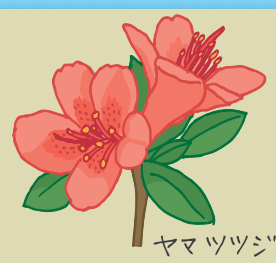
長崎 平島（ひらしま）MAP

西海市崎戸町／自然景観に恵まれた島



ヤマツツジ
春はヤマツツジが一面に咲き乱れます。

平島は五島灘の北緯33度に浮かぶ西海市西端の島。
面積5.49km²、周囲16.9km。
海から臨む島影は、ダイナミックな岩肌が特徴的です。
島内を歩くと、自然がつくる美しい造形に目を奪われ、
それを作り出した時の流れを感じます。

石切場跡

明治時代から砥石の産地として知られていた平島。砥石山で採石された砂石は昭和初期から中期には紙を作るための木材をすり潰す「パルプストーン」に加工され全国の製紙会社で使用されていました。その後1972年にパルプストーンの生産は終了しましたが、長崎市のオランダ坂やグラバー園の石畳は平成に入って砥石山から切り出されたもの。 砂岩の文様は幻想的な絵画のよう。自然が作り出した美しい景観をぜひご覧ください。ただし足場が悪いので注意。

頭ヶ島

頭ヶ島大橋

中通島

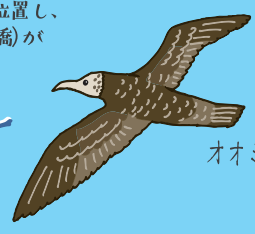
上五島

西海国立公園の一部として指定されている平島。相崎瀬戸を挟んだ西側には五島列島が位置し、中通島と頭ケ島を結ぶ赤い橋(頭ケ島大橋)がはっきり見えます。

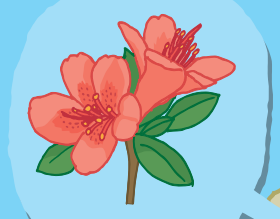
ナーマイドー

ナーマイドーは江戸時代から続いている伝統行事で2003年に長崎県の無形民俗文化財に指定されました。「ナーマイドー」とは、「南無阿弥陀仏」という念仏がなまり、転じてついた行事名といわれています。発端は浄専寺の4世が庄屋の娘と恋仲になったものの許しをもらえなかった二人が観音堂の岩から飛び降りて命を絶った出来事。その後、島内で疫病や大火などが起きたため、供養行事として始まりました。
大きなワラ縄を数珠に見立てて島内を引き回した後、海へ投げ入れ対岸へと運びます。道中は揃いの白い法被を着た人々のナーマイドーの声とともに缶をたたく音が鳴り響きます。
現在は海の日に行われており、ナーマイドーが終わると平島は海開き。夏の訪れを告げる行事でもあります。

捕鯨基地として賑わう1836年ごろ建立されたといわれています。10月には平島くんちが行われ、浮立が奉納されます。



オオミズナギドリ



ヤマツツジ

釣りスポット
黒バエ

ヨーズ

黒崎

海岸へ

黒崎

ケモノ道を抜けると釣りスポット。

鎌崎

一の鳥居をくぐると青い鳥居が見えます。境内には青い狛犬が鎮座しています。

南風泊浦

小島

タツサキ
竜崎

石切場跡

砥石山

石切場への道

20分程度(約1km)
トレッキングの先には驚きの風景が広がっています。
途中で見える海も絶景！

車はここまで

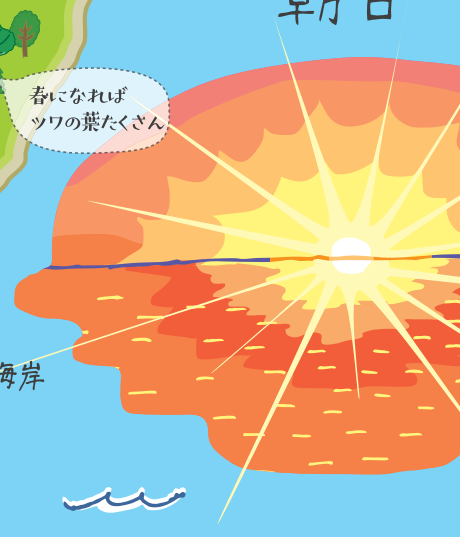
立木商店
0959-47-2252

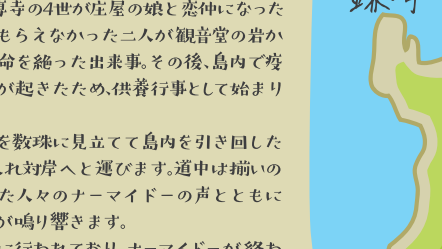
金比羅(琴平)神社

南風泊

春になればツワの葉たくさん

朝日





灯台西南風泊線

白岳
標高205m

白岳の道

暖かい天気の良い日には白ヤギが見えるかも…

灯台南風泊線

ナンゴウラ
南川原海岸

浄専寺の奥鐘は2015年に西海市の有形文化財に指定されました。

金比羅神社

浄専寺

中村商店
0959-47-2228

清水観音

砂防ダム

ナーマイドーのルート

大きな石と祠が印象的な静謐な空間。境内の3か所に建てられた杭を使ってナーマイドーに使う大きなワラ縄が作られます。

矢坪

北緯33度線

先ノ瀬

中ノ瀬

元ノ瀬

入リポート

豊姫神社

木村八郎商店
0959-47-2030

西海市役所
平島出張所
(平島公民館)
0959-47-2001

平島診療所
0959-47-2123

新屋旅館
0959-47-2010

捕鯨事業内屋場跡の石碑

砂浜

番所跡

平島郵便局

本多商店
0959-47-2029

平島小中学校

矢坪の浜

平島灯台

五島灘を航行する船を見守り続けてきた灯台。無人なので灯台の中には入れません。

平島フェリーターミナル

西海大崎漁協
平島支所

平島港

恵比須神社

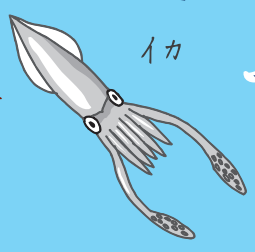
鬼火焼き
正月7日に木や竹を焼いて悪霊(鬼)を払う伝統行事。その炭で焼いた餅を食べるとその年は病気をしないと言われている。

長い年月をかけて波の浸食が作った造形作品のような岩の浜。

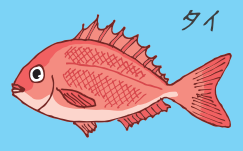
相崎ノ鼻

平島で水揚げされる魚たち

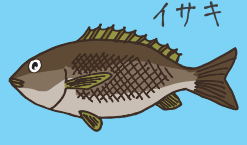
大型の伊勢海老



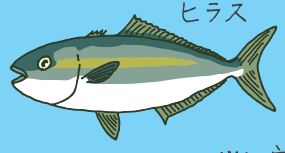
イカ



タイ



イサキ



ヒラス

サザエ

アワビ

ウニ

小島

ヒュー先

アカエリヒレアシシギ

蔦崎

えりか丸(遊漁船)
[問い合わせ先]
0959-47-2035

名乗瀬

中ヒエ

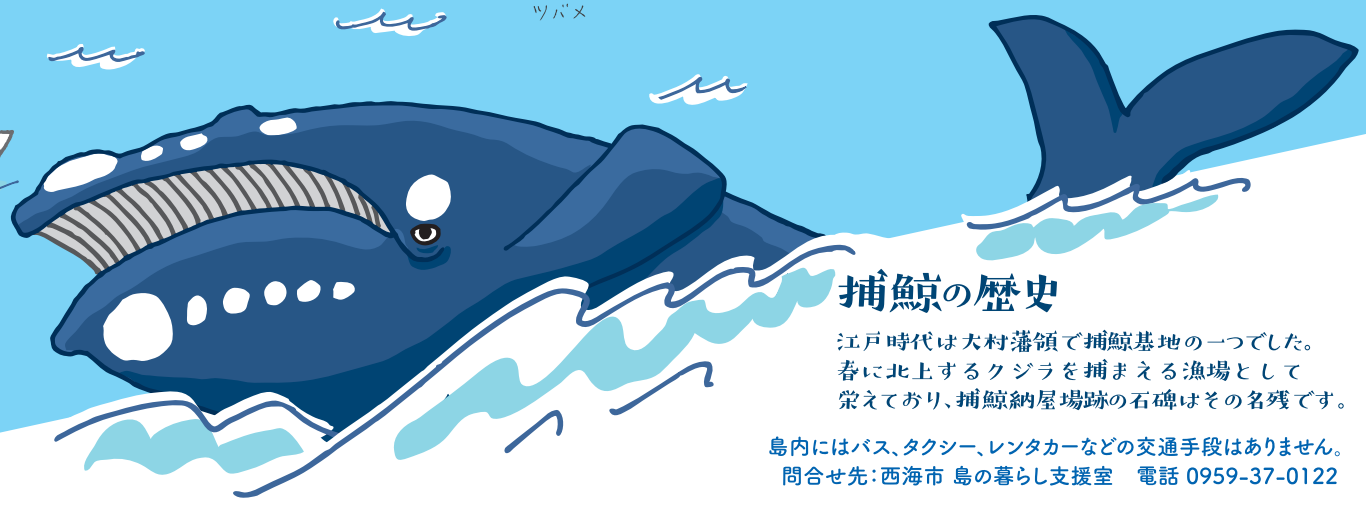
フェリーみしま

[問い合わせ先]
崎戸商船 株式会社 0956-25-6118

友住港から　約20分
江島港から　約50分
崎戸港から　約1時間50分
佐世保から　約3時間
※車、バイク、自転車も載せられます

2019年6月新船就航

ツバメ



捕鯨の歴史

江戸時代は大村藩領で捕鯨基地の一つでした。
春に北上するクジラを捕まえる漁場として
栄えており、捕鯨納屋場跡の石碑はその名残です。

島内にはバス、タクシー、レンタカーなどの交通手段はありません。
問合せ先：西海市 島の暮らし支援室　電話 0959-37-0122